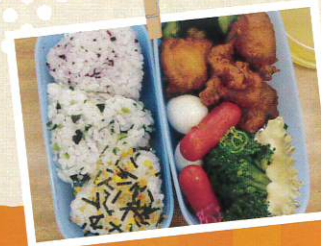


つくろ! たべろ! かたづけろ!

BENTO UNOHI

弁当の日



「買い出し」から「片付け」までぜんぶ1人で!

子どもたちの生きている時間の中で、学校や塾に関わる「まなびの時間」が増えていきます。生きていくための基本的な衣食住に関する「くらしの時間」は減っているというのに…。

香川県の小学校で竹下和男校長(当時)は、子どもたちに「くらしの時間」を取り戻したほうがよいと考え、2001年に子どもが作る「弁当の日」を始めました。

子どもが年に数回、自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取り組みです。何を作るかを決めることも、買い出しも、調理も、お弁当箱に詰めるのも、片付けも、すべて子どもがします。親も先生も、その出来具合を批評も評価もしないという約束です。

大人は子どもが包丁や火を使うことを「危ない」「失敗したら」などと心配し、あるいは親が「やったほうが早い」「教えるのは面倒」と手を出してしまいがちです。自信がなくて親に手伝ってもらう子どももいます。

でも「ぜんぶ自分で作った」という友だちを見ているうちに「次は自分だけで作ってみよう」と決意する時がやってきます。だから、それはかまわないのです。

子どもには、自分で伸びようとする力が備わっていることを思い出してほしいのです。大人はじっと見守ってあげてほしいのです。じっと見守ることができるのは大人の力です。



“感謝”の心を育む

“弁当の日”の体験を通じて、子どもたちは食べることが「いのちのバトンリレー」であることを学んでいきます。遠い日の家庭でのぬくもりを思い出す親がいます。子どもが地域への感謝に気付くこともあります。

そして、想像力が培われ、感性が磨かれ、人に喜ばれることをうれしいと知り、ものごとを感謝とともに受け止められ、この世界をまっすぐな目で見つめられるようになるでしょう。



「弁当の日」を経験した子どもたちのその後

彼らの多くが「弁当の日」を語るとき、「つながり」「関心」「共感」「感動」「感謝」という言葉を口にします。子どもたちは、「弁当の日」を通じて、自分と他者の心をつなぎ、さらに自分と社会の関係を見つめ始めているのです。



今でも作ってます!

子どもの感想

朝起きるのは大変だったけど、がんばった。学校に持っていったらみんなが「おいしそう」と言ってくれたのがうれしかった。



小5 男子

最初はうまくできなくて、泣きそうになったけど練習して最後はキレイに出来てうれしかった。やればできるんだと思った。



小5 男子

時間がかかったけど自分で作るのは楽しいと思った。次は緑を増やしたい。



小6 女子

親の感想

今回も、「お母さん毎日大変だね」と労をねぎらってくれました。



中1 女子母

家の手伝いを何もしなかった子が、その後たびたび手伝いをするようにになりました。



中1 男子母

「時間がない、早く!」「そうじゃなくて…」という言葉がいくつ飲み込んだらう。でも、回数を重ねるたびに少しずつ容量よく、手際もよく料理していく子どもの姿は、ひと回り大きく感じられた。

小6 女子母



“弁当の日”を通じ、子どもが料理をすることで、家族の絆、地域の絆を取り戻し、未来を担う子どもたちの健全な育成のために、さまざまな取り組みを進めています。

活動スケジュール

- フリーペーパー「もぐもぐ」(年4回)の発行
- 子どもおよび大人向けの料理教室(夏・春)主催
- 講演会・シンポジウムなどイベント(随時)の実施
- 「弁当の日」実施に向けての「講演会」や「映画上映会」を希望する学校や団体への費用助成(助成団体を年2回募集)
- 活動方針決定会議(年1回)の実施 など



● 講師派遣・映画上映会開催の助成

“弁当の日”の実施へ向けて講演会開催を希望する学校や団体に対して、講師派遣費用を助成しています。ドキュメンタリー映画「弁当の日」の上映に対する助成も行っています。助成団体の募集は、1月中旬と6月中旬の年2回。



● 料理教室の主催

子どもが各種専門家から教わりながら作る料理教室を開催しています。保護者は別室で待機し、子どもたちを見守ります。また、大人向け、親子向けの教室も開催しています。



● フリーペーパー『もぐもぐ』発行

著名人への食に関するインタビューや季節のレシピ、実施校に関する情報など“弁当の日”を紹介するフリーペーパーを制作しています。年4回発行。HPから内容をご覧いただけます。



● イベントの実施

“弁当の日”を知ってもらうためのシンポジウムや講演会、“弁当の日”の実践事例などを共有する情報交換会、関連映画の上映会や写真展などを主催しています。



● 各種イベントへの参加

国や自治体など外部のイベントやアワードに参加、情報発信を行っています。



● 広報コンテンツの制作・配信

“弁当の日”を紹介するサイネージや動画などコンテンツの制作や情報発信などの広報活動を行っています。



● 協賛企業の取り組みなど情報発信

協賛企業が個別または共同で行う活動について、各種媒体で取材するなど、広報支援を行っています。



協賛

kikkoman
おいしい記憶をつくりたい。

アサヒ
アサヒ

KUREHA
KUREHA

CGC
CGC

信州ハム
信州ハム

あなたの未来を強くする
住友生命
住友生命

全農
全農

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS
TOKYO GAS

NISSHIN
oilio
“植物のチカラ”

House
House

丸大食品
丸大食品

未来は、ミカタの中に。
雪印メグミルク
雪印メグミルク

「弁当の日」応援プロジェクト
公式アカウント

HP
https://bentounohi.jp/



Twitter
@bentounohi



Facebook
@bentounohi.jp



LINE
@484kfytf



つくろ！ たべる！ かたづける！

弁当の日

弁当作りを、親は手伝いません。

献立、買い出し、調理、弁当詰めから片付けまで、
すべて子どもがするのです。

弁当には点数をつけません、評価もしません。

それが“**弁当の日**”です。

「弁当の日」応援プロジェクト